

一億五千万円の膨大な額にのぼるのである。ところが政府は最初養蚕対策として二百六十五万円の補助金、共同保管施設助成金及び七十五万五千円の桑園整理改植助成金を以つて一時は糊塗せんとしたのであるが眼前の情勢余りに慘澹たるに逡巡して対岸の火災視する能はず製糸養蚕家救済資金として四千万円融通し其の内一千万円を制業銀行から出して製糸家購置資金に当て予金部より三千万円引出し養蚕農家緊急資金に充当せしめんとしているのである。然し一歩退いて考へて見るにどうだろうか。大体之が老債五千万円の収入減である。損失一貫一円二十銭としても六千万円の喰込である。食はずに依りて着物や家まで取られると云ふ辛潮な筆法だ。この恐慌のつなみ、もとより四千万円は實はぬより貰つた方が宜い。然しそれは四千万円で老債五千万円の三令の一が………況して我々養蚕農家の生活がそれによってどうなると云ふ試ではない。此処に於いて我々は養蚕経営を政府で方針を立て其の損失及國庫で保証しなければならぬことと提唱する。若し現在の如く放任してこれを顧みなかつたならば養蚕農家の………である。又時間の問題である。我々は漸然臨時議会の開催を實現せしめて養蚕経営の現状を具さし發表し其の急に應ずる政策を取らしめねばならぬ。我々は一刻も油断すること出来ぬ。夏蕨、秋蕨は既に既にまた眼前に迫りその対策について混迷惑乱してゐる。全国をあげて臨時議會開催は何れの団体もこれと提唱し要求してゐる。我々はこの潮の流れに乘かなくてはならぬ。否元登すべきである。我々は二の三大スローガン、二大要求——死蔵米の解放と養蚕農の損失保証との大政策を掲げて政府に提議するそれは唯一絶対の路線統一の具體的行動でありまた絶対的戦果である。それは当然全農総本部が現在の組織を土台として全農全会、日本農民組合総同盟、否争う斯かる

組織を基礎とて全農労働者大衆に何うして大煽動、大宣伝を敢行しなくてはならぬ。新らしき組織へ、新人の激進化の大活躍へ、総べては新しきものでなくては駄目だ。古い組織は感激が蓄る。鈍化する。爆発が少くない。波紋が継起しない。處々地、未知の我が儕なき農家のいるところへ、暗殺運動の赤い火が滔々く枯草の戦野へ、其処に農民運動が在るの組織の中に蠢動するケチ臭いものもなく組織が激発の動火線として全大衆に睨みつけ新戦野の激進奪取するところとして、治安維持法を突破する大動員が雷鳴を打つところとして、斯くて我々の戦線は当面の最大眼目として臨時議會開催に向つて政府へ提議する。その大動員は地方官を廻つて死蔵米解放要求、小作地取上禁止………農家食料差押へ反対要求等のスローガンのもとに急し得る最大の我々の大衆運動を決定しなければならぬ。それ等の方法は我々が集る総べての場合に之が實現を努めねばならぬ。そしてそれは農民運動の再拡大の道に通ずる我等の唯一の路であり、總て求むる農業革命への前提である。

一九三四年 六月 七日

全農全会再建斗争委員会

印